

大和市の防災力を向上させるためのアイデア編



やまと市民討議会

開催結果概要

「やまと市民討議会～大和市の防災力を向上させるためのアイデア編」を開催しました！

今後、いつ見舞われるかもしれない「災害」に備えて、大和市の防災力を向上させるためのアイデアについて、市民の方々からご意見をいただき、市の取り組みの参考とするため、平成 28 年 11 月 20 日（日）に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」の方々に参加していただくため、無作為抽出した市民 3,000 名に案内を送付しました。

当日は、申し込みいただいた21名の方と市内高等学校 6 校から生徒 12 名が参加しました。



市民討議会の様子

午前のグループワークのまとめ

あなたが取り組んでいる 防災対策を出し合おう

- ・ ガスボンベ、ラジオ、ライトなどの防災グッズや水、食料などの備蓄品を準備している
- ・ 家具の転倒防止や窓ガラスの飛散防止をしている
- ・ 集合場所や伝言ダイヤル、ペットの担当など、家族でルールを決めている
- ・ 自治会の防災活動（避難訓練、高齢者安全確認）に参加している
- ・ 市の防災メールに登録している
など

大きな地震の時の 心配ごとを出し合おう

- ・ 交通がマヒして帰宅困難者になる可能性がある
- ・ 高齢者、障がい者、外国人が円滑に避難できるか心配
- ・ 家が倒壊していないか、修理費用も心配
- ・ 避難生活が長期化した場合、小さい子どもやお風呂・トイレ、薬、ごみが心配
- ・ 防災放送などの情報伝達手段があるか心配
など

自助・共助・公助の課題や 大切なキーワードを出し合おう

- ・ 小さな子どもや障がい者、ペットなどの支援を必要とする人に日ごろから気を配ることが大切
- ・ 無関心な人にも情報発信や意識啓発を効果的に行う必要がある
- ・ 耐震化が必要だが、コストがかかるので補助が充実するとよい
- ・ SNS や LINE の既読機能を効果的に活用して安全確認ができるとよい
- ・ 帰宅困難者対策のために、ルートの確認や移動手段の確保が大切
など

午後のグループワークのまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

表の見方

グループ番号

課題

解決アイデア

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイデアです。

テーマ① 楽しい防災訓練をつくろう

1グループ	2グループ
<p>食の要素を防災訓練に</p> <p>非常時に食べる「食」に面白味を入れ、「炊き出しグランプリ」を訓練のメインイベントにしよう</p>	<p>休日にわざわざ防災訓練に行かない</p> <p>休日でも参加したくなる防災訓練にするために、イベントを前面に出し、今まで行ったことのない方法で開催(夜に行うなど)、食とグッズで集客を図り、キャッチーなタイトルで周知しよう</p>
<p>訓練で様々な体験をしたい</p> <p>ホース体験、炊き出し、妊婦さん・老人・子ども救助疑似体験、担架運搬、注目度アップのレンジャー訓練ショーを実施したい</p>	<p>そもそも防災訓練を行っていることを知らない</p> <p>防災訓練の存在を効果的に伝え、受けとるために、広告の写真などインパクトをもたせたり、有名人招致や、新ポストを設定し(防災所長など)、発信力を強化しよう</p>
<p>今の訓練をさらに良くする視点も必要</p> <p>みんなでかわいい服を着て避難路チェック、ウォークラリー形式やナイトウォークでも実施したい</p>	<p>お役所感がすぎている</p> <p>お役所感を払拭し、防災訓練に参加してもらうために、ドレスコードを決めて写真を撮り統一感を出そう(防災=〇〇色、〇〇の音など)</p>
<p>広報が届いていない</p> <p>訓練の注目度が低いので、芸能人とタイアップして知名度を上げる</p>	<p>誘いにくく、誘うものでもない</p> <p>友人を誘いやすい、誘いたくなる防災訓練にするために、楽しい防災訓練で何をしてきたかを知ろう</p>
<p>若い人に参加してもらいたい</p> <p>合コン形式とし、引きこもり対策や若い人が集まる機会を兼ね、炊き出しや訓練イベントで出会うと有事の際に安心感が持てる</p>	

テーマ② 楽しく防災力を高める ～〇〇×防災～

3グループ	4グループ
<p>防災に関わる職業を体験し、実際の防災を学ぶことで、実際に役に立つ機会をつくるのが大切</p> <p>「ポンプ車」「ハシゴ車」「自衛隊のトラック」など防災に関わる乗り物に乗ることで、自然と防災意識を高めよう</p>	<p>日常生活の楽しみ、カフェのように楽しみ、防災を感じられる</p> <p>子育て中の親子をターゲットにカフェ形式のワークショップを開催し、防災グッズを手芸で作成し持ち帰る機会をつくろう</p>
<p>防災のことを考えなくても自分は何とかなると思ってしまう</p> <p>「マーチングバンド」「災害時の医療部隊」など、カッコいい職業を見る・体験・参加することで防災意識を高めよう</p>	<p>忙しくて時間がつくれぬ</p> <p>スポーツ観戦の試合開始前の空き時間に選手やマスコットと触れ合いながら防災体験を実施しよう</p>
<p>小学校などで被災すると、小さい子はパニックになってしまう</p> <p>子どもは親が防災のことをなんとかしてくれると思ってしまうものなので、「子どもでもできる簡単防災マニュアル」をつくろう</p>	<p>防災はとっつきにくい</p> <p>避難訓練のなかで防災トライアスロンを実施し、避難訓練を競技化しよう</p>
	<p>アウトドアとの関係が強いのでシミュレーションしたい</p>
	<p>防災用品の準備が日常のなかに入っていない</p> <p>日常的なおしゃべりの井戸端会議を活用して防災情報の共有や意識啓発につなげよう</p>
	<p>情報がしっかり行き届くようにすることが大切</p>

テーマ③ ベッドタウンの防災～大切な人やペットを守る～

5グループ	<p>情報通信機器（PC、携帯）が繋がらない時の安否確認方法が必要である</p> <p>通信が途絶えた時に、ドローンを活用して情報伝達をしよう</p>	6グループ	<p>要介護・要支援者への援助を若者を中心として組織化し、日ごろから活動していく志でバックアップしよう</p> <p>地域のお祭り等で、近所の人同士で話をするキッカケをつくり、地域交流を深めて、いざというときに備えよう</p>
	<p>災害時の行動力や情報収集力を身につけることが大切</p> <p>インターネットを活用した災害時の情報収集方法や対応策をもっと気軽に、もっと基礎からわかりやすく学べる機会を増やそう</p>		<p>安否確保を近所で行うために、周囲にも関心を持つことが大切</p>
	<p>情報通信機器（PC、携帯）が使えない方でも、安否情報が確認できる方法があるとよい</p>		<p>帰宅困難時の混乱が心配</p> <p>帰宅困難時に備えて、空き家の活用ができるように市が交渉し、協定などを結ぼう</p> <p>カラオケやまんが喫茶などの宿泊施設などを利用して帰宅困難時の混乱を避けよう</p>
<p>災害時の避難先で人とペット（動物）が共存するための方法はあるか？</p> <p>日ごろからペットが避難した時のことに備えて、ペットのマナー訓練をしておこう</p>			

テーマ④ 地域コミュニティで防災力を高める

7グループ	<p>自治会同士の連携</p> <p>自治会の楽しそうなイベントの様子を twitter で発信し、まずは活動に参加してもらおうきっかけをつくらう</p>	8グループ	<p>日常的な場が必要</p> <p>日常的に顔見知りになる活動として、お茶、おしゃべり、待機児童を対象とした預かり保育を実施して居場所づくりをしよう</p>
	<p>あいさつや会話ができる関係づくりのために、どのように仲良くなるかが課題</p> <p>学園祭のように準備段階から参加できることで（自分達でつくったものを自分達で売り出す、お勉強っぽくない）自分達で楽しいイベントをつくってほしい</p>		<p>ご近所で挨拶しない習慣が課題</p> <p>日常的に顔見知りになる活動として、そうじ、花壇の手入れ、挨拶運動を実施しよう</p>
	<p>活動に参加してくれる人に負担感少なく参加してもらおう</p> <p>一度地元の訓練などに参加すると次が断りにくくなるため、気楽に参加できるように、事前にスケジュール等を伝え、自分の生活リズムにあわせて参加できるようにしよう</p>		<p>「月 1 回の防災の日」などの定期的な取り組みが大切</p> <p>月 1 回の防災の日で顔見知りになるための若者も集まる楽しい音楽イベントを実施しよう</p>
	<p>自助から共助の仕組みへ変えていきたい</p> <p>地域の高齢者の情報がわかるように、市は福祉部門とも連携して自治会に情報を出して欲しい</p>		<p>要介護支援者の把握</p> <p>年 1 回の防災の日にて地区対抗のスポーツ大会「ヤマリンピック」を実施しよう</p>

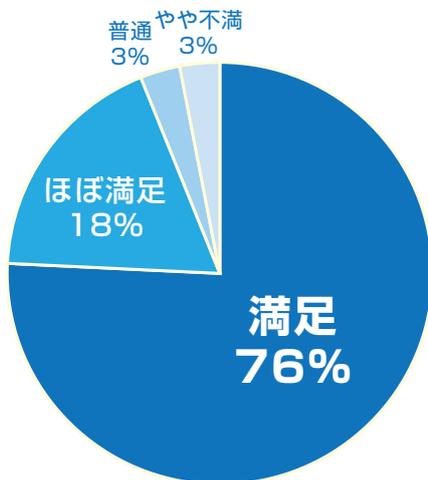


④ 当日のプログラム

時間	実施内容	時間	実施内容
9:30	受付開始	13:20	午前中の成果の共有と後半グループワークの進め方・テーマの確認
10:00	開会のあいさつ・市民討議会の目的について	13:30	午前中に出された意見を受けて、8グループ（4～5人）に分かれて、各グループが1つのテーマについて、意見交換を行います。 テーマ①：楽しい防災訓練をつくろう テーマ②：楽しく防災力を高める テーマ③：ベッドタウンの防災 テーマ④：地域コミュニティで防災力を高める
10:10	本日の進め方の説明		
10:30	大和市の防災対策について（*グループワーク中に適宜情報提供）		
10:50	8グループ（4～5人）に分かれて2つのテーマについて席替をしながら意見交換を行います。 テーマ①：あなたが取り組んでいる防災対策 テーマ②：大きな地震の時の心配ごと テーマ③：自助・共助・公助の課題		
11:50	グループ成果の発表	15:30	グループ成果の発表
12:20	昼食・休憩	15:55	各グループで良いと思った発表についてシール投票・まとめ
		16:15	閉会のあいさつ・アンケート記入

④ 参加者の感想

<市民討議会への満足度>



<主な感想>

- ・今まで防災には関心がなかったが、色々な人の色々な考えやアイデアを聞いて考えることができた。
- ・正直、意見なんて出せないのではないかと引け目を感じていましたが、皆さんとのお話の中でどんどん広がり、出すことができました。とても楽しかったです。
- ・防災に関してのみならず、お話ができて地域が身近に感じられた。
- ・高校生から高齢者まで、多様な人の意見を聞くことができて参考になった。

④ 今後の取り組みについて

今回の市民討議会で頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見として取りまとめ、市の施策展開・検討等の参考としていきます。

URL: <http://www.city.yamato.lg.jp/web/seisaku/seisaku01211799.html>

④ お問い合わせ

大和市 政策部 総合政策課 電話：046-260-5304

